

平成29年度 奈良市エイズ対策事業計画案について

1 若年層へのH I V感染予防のための対策（高校生を中心とする）

1) 正しい知識の普及

- ①高校エイズ啓発・教育の拡大のためのPR強化
 - ・市内高校への啓発活動の継続
 - ・私立高校への啓発活動の実施（エイズ教育の実態把握～保健所エイズ教育の啓発）
- ②関係機関（NPO等）との協働事業によるエイズ教育
 - ・平成28年度実施校へのエイズ教育の定着
 - ・高校文化祭でのなら思春期研究会との協働実施
- ③エイズ教育実施校による世界エイズデーの啓発
 - ・検査案内カードのデザイン協力

2 H I V感染者の早期発見・早期治療のための対策

1) H I V抗体検査・相談の普及

- ①H I V抗体検査受検者数の増加のための効果的な啓発
 - ・ホームページの充実（ツイッター・フェイスブック・QRコードの活用）
 - ・H I V検査普及週間・世界エイズデーでの啓発キャンペーンの継続実施
 - ・市民がH I Vを知る機会、目にする機会を増やす（デジタルサイネージや公用車などさまざまな媒体を使って啓発する機会を増やす）

2) 感染不安の軽減と行動変容のための検査・相談体制の充実

- ①相談・検査の質の向上
 - ・受検者の多様化に対応できる事例共有等によるスタッフのカウンセリング力向上
 - ・陽性者マニュアルの活用

3) 医療機関への啓発

- ①H I V感染者早期発見のための一般医療機関への啓発
 - ・H I V検査普及週間・世界エイズデーにともなう市民、学校、医療機関への啓発継続

3 陽性者への支援のための対策

1) エイズ拠点病院との連携した陽性者支援

- ・エイズ拠点病院との連携マニュアルの確認